

概 況

令和7年10月に発生した事故についてお知らせします。

★工事関係者等事故（死亡0件、傷害2件、物損0件）

- ・ 傷害事故が2件発生しました。
- ・ 建設現場において、高所開口部からの墜落で腕を骨折しました。
開口部周囲の危険表示、墜落防止対策は油断なく実施しましょう。
- ・ 地質調査委託において、ハンマーにより指を損傷しました。
工事現場同様に、安全対策・安全確認が必要です。

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損3件）

- ・ 物損事故が3件発生しました。
状況は、3件ともバックホウによる埋設水道設備破損です。
図面確認、試掘、目視確認など、事前確認を十分をお願いします。

～ 「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！ ～

今回は、農道工事現場から「見える化」の事例を紹介します



試掘により 農業用水管位置を確認し 注意喚起の看板設置

好事例は引き続き紹介します。アイデア募集中！

A-pressについて

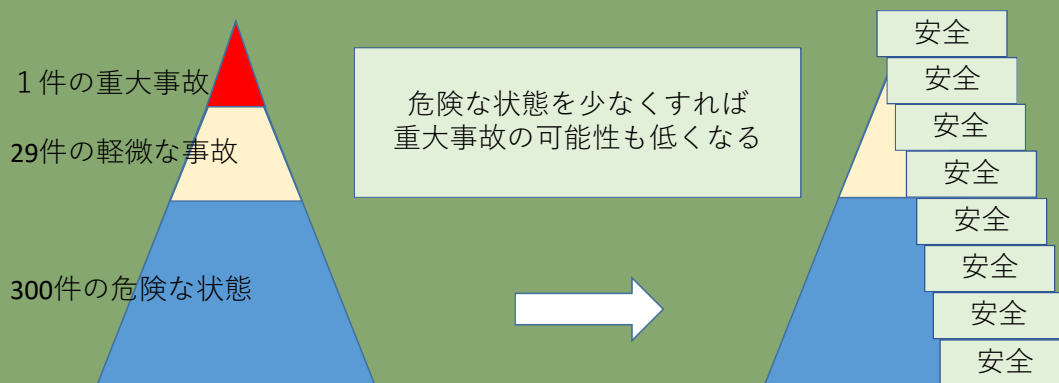
『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”
『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していきます。

～ ヒヤリ・ハット事例 ～ (事故には至らなかったがヒヤリ、ハツとした事例)

- 1 コンクリート基礎取り壊しの際に、念のため現場踏査を綿密に行ったところ、図面にはない水道管があった。
- 2 倒木処理で引き出すように倒木を移動させた。根に絡んだ水道管を一緒に引きずりそうになったところ、目視確認者が気づき作業を中断し対処した。
- 3 電線管開設のため掘削計画を立てた。念のため関連工事業者に埋設管の有無を確認したところ、そこには池水位調整の古い水道があることが分かった。

意外と多い 埋設物にかかわる事故、念には念をがキーポイント

～ 安全ひろば ～ ハインリッヒの法則はやっぱりあっている



令和6年度は、事故報告が28件、重大事故報告が1件ありました。
傾向がほぼ一致しており、ハインリッヒの法則は安全対策の原点といえます。

安全対策に関する情報をください。

(工事検査課担当 近藤:054-204-1163)